

2023年1月発行



沖縄 SC ウェブサイト

キャンパス

ニライ 第105号

放送大学 沖縄学習センター

TEL : 098 (895) 5952

FAX : 098 (895) 5953

〒903-0129 西原町字千原 1 番地

(琉球大学構内：地域国際学習センター棟 4 階・5 階)



~~~~~ CONTENTS ~~~~~

- 1・・・事務室からのお知らせ
- 6・・・学生寄稿「人はいかに学ぶか」～二つの学びのスイッチ～
- 7・・・第2回 歌碑を訪ねて中頭東回りツアー
- 8・・・かっちゃん先生のゆんたくコーナー「食はクスイムン（薬になるもの）」
- 9・・・客員教員による公開講演会 in 沖縄県立図書館ホール
- 11・・・視聴学習室・図書室からのお知らせ
- 13・・・2022 年度第2学期ゼミのお知らせ



事務室からのお知らせ



無料講習会「基礎から学ぶ宅建入門」が終了

沖縄学習センターでは、プロジェクト名「放送大学沖縄学習センター学生による地域住民のための無料講習会」が、2022年度の学長裁量経費に採択された。今回は、無料講習会の二つ目「基礎から学ぶ宅建入門」（宅建入門）を報告する。

「沖縄の三線と踊りの基本を学ぶ」については前号（第104号＝10月号）で報告済みである。

「宅建入門」は定員12人を募集したところ、希望者が多かったため、2人追加して14人が受講した。

講師は放送大学全科履修生（社会と産業コース）の宜野座建男氏で宅建士の資格を持つ。沖縄学習センターの英語クラブ「BRUSH UP」の代表者でもある。



9月4日（日）に初日を迎えるはずであった「宅建入門」は、台風第11号の襲来で翌週の9月11日（日）10時からのスタートとなった。



宅建士試験に主眼を置いた「宅建入門」では、6回（1回2時間）のカリキュラム（「宅地建物取引業法」「営業保証金制度・弁済業務保証金制度」「業務上の規則」「自ら売主制度」「報酬に関する制限」「監督・罰則」）に取り組んだ。

好き勝手にどこでも建築されると混乱が生じるので、建築基準法で定められた用途地域ごとに「建築できる用途」「建築できない用途」や建物の規模が制限されている「建ぺい率」「容積率」が指定されることなどを学んだ。受講生は実際に沖縄県の都市計画図（那覇市、浦添市、宜野湾市、沖縄市）を用いながら、自分の居住する「市」の計画図で、その地域・場所を確認していた。

宅建士でなければできない仕事や自ら売主の制限、クーリングオフの制限・効果などについても学んだ。受講生の気分転換を兼ねて、宅建の過去問などにも挑んだ。講義を進める上では効果的な方法で、受講生に好評であった。

6回に亘って実施してきた無料講習会も、10月16日（日）の講義ですべて終了した。





今後の学習センター運営に資するため、講習会に参加しての感想をアンケート形式で受講者 13 人から聞いた。

「とても分かりやすい講習だった」「生活していく上で、最も役に立つ知識だと思った」「予想していたより、充実した講義だった」「もっと詳しく学びたい。回数を増やして欲しい」「宅建入門に関しての入り口としてはとても良い講座だと思う」などがあげられ、ほとんどの受講生は毎回出席し、この講習会への意気込みが感じられた。

アンケート調査結果（概略）は、以下のとおり。

アンケートの裏面に気づかず裏面の無回答が2件あった。

この講習会をどこで知ったか。（複数回答可）

- ・新聞 10人 ・沖縄 SC ウェブサイト 1人 ・チラシ 1人
- ・知人・友人 1人 ・その他 2人

この講習会を受講した理由は（複数回答可）

- ・無料 7人 ・興味があった 12人 ・知人・友人に誘われて 2人

今後も資格取得に関する講習会があった場合

- ・参加したい 11人 ・分からない 2人

これまで沖縄 SC に関する情報等を見たり聞いたりしたことは

- ・ある 5人 ・ない 7人

放送大学で学士の学位や各種資格が取得できることを知っているか

- ・知っている 5人 ・知らない 5人

今後、放送大学で学びたいか

- ・思う 5人 ・思わない 2人 ・わからない 3人
- ・現在、放送大学の学生 1人

あなたの年齢は

- ・30代 1人 ・40代 1人 ・50代 2人
- ・60代 5人 ・70代以上 2人

放送大学のイメージは

- ・一生学びたい人のための大学、年齢に関係なく入学試験もない。
- ・誰でも通える大学。
- ・学びたい意欲を持った方々が自由に学べる。
- ・楽しいイメージ。
- ・通信教育の大学のイメージだった。
- ・この講習会を受ける前までは、自宅学習が基本、高齢者専用かと思っていた。楽しそうなので入学を検討したい。

センター独自の避難訓練を10月に実施



沖縄学習センターでは、令和3年1月29日に「放送大学沖縄学習センターの危機管理マニュアル（平成26年1月17日制定）」を廃止し、新たに「放送大学沖縄学習センターの危機管理基本方針」を制定するなど、2020年度に危機管理に関する大幅な見直しを行った。

「基本方針」をもとに、「事象別危機管理マニュアル」も新たに作成した。

「危機管理基本方針」「緊急連絡体制」「避難経路図」「事象別危機管理マニュアル」を一つに纏めて「沖縄学習センター危機管理ハンドブック」として作成し、必要に応じ内容を更新している。

当センターでは、職員間の情報共有として、毎週水曜日（11:15～11:45）に「情報交換会」を開催しているが、その中で、必要に応じ、「危機管理に関する勉強会」も実施している。2020年度は2回、2021年度は7回開催した。2022年度は現在までのところ9回開催した。



「勉強会」では危機管理に関する全般について職員間で情報共有し、見直しを図っている。

例えば、避難経路については、当初は内階段と外（非常用）階段の両方を使用する予定であったが、火災が発生すると内階段は防火扉が自動で閉まるため、危険との意見があり、外階段のみを使用することとした。

また、エレベーターは途中で閉まる危険性があるので使用しない、「担架」については重すぎる（質量 8.9 kg、長さ 2,190mm、幅 540mm）ため、怪我人を乗せて、狭い階段を2人あるいは4人で使用するには危険が想定できるので、訓練では使用せず、実際に地震等が発生した場合でも使用しないこととした。

避難する際、非常口（4階・5階）の開け方、避難先が1階の駐車場であることの確認、避難先における全員の安全確認のチェックなど、あらゆる角度から「勉強会」でシミュレーションした。

逃げ遅れた人がいないか、トイレに閉じ込められた人がいないかなどもチェックすることとした。2つの班（避難誘導班、消火班）に分け、だれが何を担当するのか、役割分担もあらかじめ決めた。



勉強会で学んだ事を行動として移すことができるのか、課題は何かを探るため、2022年10月12日（水）にセンター独自の避難訓練を実施した。避難訓練では、「震度5強以上の大地震で、同時に火災が発生した」ことを想定とした。

避難訓練は事務長の「地震が発生しました」の4階・5階の館内放送を合図に、各自が各々の担当に取り掛かった。いつもとは違う緊張感のもとで、避難訓練は行われた。

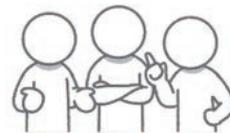
当日、センター利用の学生、客員教員、センター職員を含め14名が参加した。

避難誘導班は、学生の避難誘導や逃げ遅れた人がいないか各部屋を回って確認していた。火災班は、火災が発生しているので、内階段は使用せず、外階段（非常口）を利用するよう呼びかけた。参加者は4階・5階から避難先である1階の駐車場に避難し、特にトラブルもなく避難訓練は終了した。

避難先である駐車場では避難した数の確認、怪我人はいないか、逃げ遅れた人がいなかったのかを確認した後、解散した。

避難訓練後、職員は事務室に戻り、反省点を踏まえ、意見交換を行った。

主な意見としては、「非常口階段に物が置かれていた」「手すりが無く、非常口階段の傾斜も少し急で避難する際、危険を感じた」「各非常口に非常口であることを分かりやすく表示した方がいい」「避難先の1階駐車場は広すぎるので、具体的な避難エリアを特定すべき」などがあった。「チェックリストも事前に作成した方がいい」「実際に地震があった場合、全員が出勤しているとは限らないので、その際の担当も決めていた方がいい」などの意見もあった。



さらに、「消火器」「消火栓」の使い方についての研修の必要性もあげられた。今後は、それらの意見などを踏まえて、シナリオ、役割分担、避難先の案内図などを見直すこととした。

単位認定試験についての大切なお知らせ

-2022年度第2学期の単位認定試験もWeb受験方式で実施-

2022年度第2学期の単位認定試験を「自宅等受験」及び「センターでの受験」で受験する場合、第1学期同様、放送大学ウェブサイトのトップページから「システムWAKABA」にアクセスして行います。その際、「ID」と「パスワード」が求められます。

「ID」と「パスワード」が分からない、あるいはログインしても「2022年度第2学期の単位認定試験」のページにアクセスできない場合は、沖縄学習センター（TEL：098-895-5952）へご連絡ください。



単位認定試験を「**自宅等受験**」で受験する場合

- 試験期間は、学部・大学院とも2023年1月17日（火）9:00～1月25日（水）17:00の9日間。
- 試験期間中であれば、インターネットを通じて、いつでも自宅等から受験することができます。
- 実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、試験期間前までに必ず体験版を操作しておいてください。



単位認定試験を「**センターで受験**」する場合

- ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により、Web受験が困難な方は**大学本部に申請**することで沖縄学習センターで受験できます。ただし、センター受験であってもセンターのパソコンを使用して、ご自身で行います。
- **大学本部への申請方法**
センターでの受験をご希望される方は、「**学習センター受験申請書**」（2022年度第2学期の印刷教材等に同封されます。印刷教材の発送がない方の場合は「学生生活の

葉」に同封されます。)を放送大学学生課単位認定試験係(〒261-8586 千葉市美浜区若葉 2-11)へ申請(2022年10月1日(土)~11月24日(木)(必着))してください。

● **沖縄学習センターでの単位認定試験の受験に当たって**

- センターでの受験日・時限は、「授業科目案内」(2022年度第2学期)に記載のとおりです。
- 試験当日の「試験問題の閲覧」と「択一式の解答」は、原則として沖縄学習センターのパソコンによりご自身で行います。
- ただし、記述式の解答は、Web入力ではなく、解答用紙を沖縄学習センターで配付しますので、解答用紙に記述することになります。試験問題はパソコンで閲覧します。

沖縄学習センターでのWeb体験会

システム操作の体験会を開催します。

体験実施の日時等については、「学習センター受験申請書」を本部に提出された方を対象に、放送大学本部から申請者に「沖縄学習センターでの体験会の日程」が送付されます。

沖縄学習センターでの体験会の日程は以下のとおりですので、ご都合の良い日にちを沖縄学習センターにお電話や直接窓口にてご予約ください。

【日 時】2022年 ①12/21(水) ②12/22日(木) ③12/23日(金)
2023年 ④1/11(水) いずれも 14:00~15:00

※定員を超えた曜日については個別に日程変更をお願いする場合があります。

【定 員】各曜日とも10名 【場 所】沖縄学習センター5階(実習室)

※パソコン等をお持ちで、体験会を通して操作方法を把握された方には「自宅受験」をお勧めします。



年末年始のセンター閉所日						
日	月	火	水	木	金	土
12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31
	閉所日	臨時閉所日	臨時閉所日	閉所日	閉所日	閉所日
1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7
閉所日	閉所日	閉所日	臨時閉所日			
元日						
1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14
	閉所日					臨時閉所日
	成人の日					共通テスト
1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21
臨時閉所日	閉所日					
共通テスト						

*2023年度大学入試共通テストが琉球大学を試験会場に2023年1月14日(土)、15日(日)の二日間行われます。そのため、放送大学沖縄学習センターでは、2023年度から大学入試共通テストが行われる日は臨時閉所日と致します。ご理解とご協力をお願いいたします。

「人はいかに学ぶか」～二つの学びのスイッチ～

全科履修生（情報コース） 上間 まり子



「人は現実的必要がある時に学ぶだけでなく、それを超えて学ぶことができるという主張を裏付ける現象を説明せよ」という通信課題問題。2003年4月に「心理と教育」専攻全科履修生として入学した私は、スタートから記述式という難問科目を選択してしまっていた。さらにそれは、私の人生に大きく影響を与える問いにもなった。

放送大学に入学以前は、企業の経理職で糧を得ていた私は、「いつか、大学で学んでみたい」と漠然と憧れだけを募らせていた。経済的な事情で、断念した大学に無試験で入学できた喜びを噛み締め、せめて卒業だけはしたいと願っていた時、お先真っ暗と途方にくれた。

企業人自前の技術的・専門的知識では手も足も出ない。「どうしよう」。学習センターで先輩学生にきいてみた。

「難しいね。でも大丈夫、テキストから文字を拾って書いて期間内に届けば、及第点はいけるから」「最初に難しい問題をやり遂げると後は楽勝よ。頑張って。」「通信課題に合格しないと認定試験受けられないよ。」と、笑顔の言葉が私を不安にさせた。



何かが違う。テキストに答えがない問いなのだ。自分の内面に答えを求め、何日も悩み、考え、ようやく800文字書き上げた。

それまで、受動的に得た知識をそのまま咀嚼もせず活用してきた私にとって、その問いを解く作業（理解し納得し丁寧に答えを出す）は、私の「学び」のスイッチとなった。

スイッチが入ると「学び」への向き合い方が見えてきた。「知識を得るだけの行為」から「知識の意味を追求する」という変化へ。

さらに私に変化のスイッチを入れた出来事がある。Tさんと出会ったことだ。彼女は2006年の面接授業「高齢社会と第三の人生」受講時は、入学したばかりだった。



これまで、ほかの学生との関わりをほとんど持っていなかった私は、面接授業のグループワークで親しくなったTさんと、学生生活を女学生気分楽しんだ。社交的なTさんは、「ハワイアンフラサークル」を立上げ、孤独な座学学生を交流の場に誘っていった。

そんなTさんに感化された私は、積極的に新入学生と交流し「パソコンサークル」の立上げに関わった。

さらに沖縄学習センター前所長や職員の方々に働きかけて開催したサークル大集合イベント「学ぶ私たちの集い」を3年続けて楽しむほど学生生活を全身で満喫していた。

Tさんとの出会いからはじまった面接授業やサークル活動での交流は、孤独で座学中心だった私の「学び」を躍動的に変化させた。

二つの変化を通して知的好奇心を広げた私は、20年間で5コースを卒業した。

さらに「学び」の副産物として心理学検定1級取得、琉球大学社会人聴講生として11講座の修了、放送大学科目群履修認証制度で3プランの認証を得ることができた。

現在、学外での活動として、ラジオ体操指導者2級認定、保護司活動など「学び」スイッチが「オン」のまま放送大学から地域社会に活動がシフトしている。

そして、三つ目のスイッチがあることを楽しみに、これからも放送大学で学び続けていきたい。



なかがみあがりまわ

第2回 歌碑を訪ねて 中頭東回りツアー



三線サークル 桃原友江

コロナ感染症による行動制限に伴い、企画して一年半でようやく「第一回歌碑を訪ねてやんばるツアー」を令和3年10月に実現することが出来ました。たいへん好評で「次回も行きたい」と声が上がリ、「第二回歌碑を訪ねて中頭東回りツアー」を計画しましたが、コロナ感染者数増大のため、思うように予定が組めませんでした。

しかし、令和4年9月に日程を決め、前回から丁度一年目にあたる令和4年10月に、開催することが出来ました。当日は朝9時半集合。天気も晴れ、最高のツアー日和でした。

始めに西原町の小那覇、「梅の香り」歌碑を尋ねました。ここでは、ボタンを押すと二通りの「梅の香り」の歌が流れ、共に歌い楽しみました。その他、「じっそう節」「勝連節」などの歌碑を巡り、その前で三線を奏で、歌い踊り、遠い先人の思いに触れ、人と人との繋がりを強く大事にしていた事を、琉歌を通じ改めて気づかされるツアーにもなりました。帰り道では、「次回は、どこへ行こうか?」と早速話題となり、「さすが三線サークル! 学ぶ気持ちや思いが溢れた会話が飛び交っている」と嬉しくなりました。

ツアーを企画協力した皆様、感謝申し上げます。「第三回歌碑を訪ねて」も楽しみです!



「梅の香り」歌碑 (西原町)

綿花を売りながら恋心を歌った歌です。現代と同じかな。

次回は、梅の花咲く3月ごろ見にきたい。



「じっそう節」歌碑 (中城村)



「勝連節」歌碑 (北中城村)

潮波が荒くて海を渡ることができないことを嘆いた歌です。



「高離節」歌碑 (うるま市)

故郷を思う女性の歌です。



自然の中で練習もしました。



「仲順流り」歌碑 (北中城村)

実は、軽快にエイサー曲を弾いて賑やかな雰囲気の中で、写真撮影しています。



親を思い涙した歌です。歌碑の前で歌に思いをこめて踊り、三線を奏でました。



「浜千鳥節」歌碑 (うるま市)



かっちゃん先生（森山克子先生）のゆんたくコーナー

食はクスイムン（薬になるもの）



令和5年（2023）癸卯年を迎えました。新春のお喜びを申し上げます。新たな年の初めに、日本調理科学会で発表した沖縄県の家庭料理—行事食の特徴—をご紹介します。



1. 正月の料理について

正月には中身汁、イナムドゥチなどの豚肉料理やクーブイリチー、ターンムディンガクなどを食べる家庭が多い。戦後しばらくは、各戸で豚を養うことが一般的で、年末には豚を屠り正月の料理に用いていた。



中身汁

豚の腸や胃をきれいに処理して仕上げた吸い物



イナムドゥチ

甘味噌仕立ての味の多い味噌汁



クーブイリチー

昆布と豚三枚肉、切干大根などの炒め煮



ターンムディンガク

田芋を甘くきんとん風に煮たもの。田芋は子孫繁栄を意味する

（写真提供：日本調理科学会沖縄県支部会員）

2. ハマウリ（浜下り）

旧暦3月3日はハマウリで、サングウチサンニチーとも呼ばれ、女の節句である。三月菓子を作り、見た目が華やかな三月御重を持って、女性や子供たちは浜に下りて身を清めながら潮干狩りなどを楽しむ。



三月御重

華やかな料理を工夫して作る。ゆで卵やピーナッツなどを食紅で色付けする。

（写真提供：知念加央梨）



客員教員による公開講演会 in 沖縄県立図書館ホール

【講演会のお申込みは下記の方法で。定員30名】

- ① センター窓口で直接申込み・・・職員にお声かけください。
- ② お電話で申込み・・・・・・放送大学沖縄学習センター
電話 098-895-5952
- ③ メールで申込み・・・・・・okinawa-h@ouj.ac.jp

内容は次ページ
をcheck!

*メールのタイトルは、「公開講演会申込」と表示。

「申込希望講演会講師名」

「申込者氏名」

「申込者電話番号」をお知らせください。



講演会では、新型コロナウイルス感染症対策にご協力の上、参加をお願いします

Go! 沖縄県立図書館には「放送大学コーナー」があります

公開講演会に参加する際には、沖縄県立図書館の「放送大学コーナー」もぜひ覗いてみてください。

*放送大学の印刷教材が閲覧できます（貸出不可）。

*タブレット端末を貸出ししていますので（ただし館内利用・時間制限あり）、放送授業の視聴ができます。

*沖縄県立図書館には、放送大学の印刷教材以外にも多くの書籍に触れることができます。



まなぴーもいますよ～



沖縄県立図書館の
マスコットキャラク
ターLALAちゃんも
探してみてね。



参加無料

客員教員による公開講演会 in 沖縄県立図書館 (3階ホール)



尚 真貴子先生 2023/1/22 (日) 14:00~15:30

「外国人への日本語教育から見えてくる日本語の新たな世界」

私たちは生まれた時から「日本語」を使ってきた、いわば「日本語」使用のプロです。では、例えば、「日本語」を学ぶ外国人から「『うれしい』と『楽しい』はどう違いますか?」と尋ねられたらどう答えますか? もし、その質問に迷わず答えられたら、あなたは「日本語」教育のプロでもあります。しかし、それは思いのほか難しいのではないのでしょうか。というのも、「日本語」を母語とする私たちは「日本語」を無意識的に使用しているからです。それに対して、外国の人は「日本語」を意識的に学びます。言い換えれば、「日本語教育」には「日本語」をあらためて意識化することが必要不可欠なのです。つまり、私たち日本人は外国人に「日本語」を教えることを通して、「日本語」を客観視する機会を与えられていると言えるでしょう。外国人への「日本語教育」を通して、皆さんと「日本語」の面白さを再発見し、その不思議な世界を少し旅してみたいと思います。



大城 賢 先生 2023/1/29 (日) 14:00~15:30

「英語の楽しい学び方」

日本では2020年度から小学校に教科としての外国語(英語)が導入されました。これは、従来の英語教育の枠組みの変更を意味します。今後、中・高校を含めて日本の英語教育は大きく変わっていきます。日本の外国語教育の現状を紹介し、今後、私たちは外国語にどのように向き合い、また、どのように外国語を学んでいけばよいのかを受講者の皆様と一緒に考えていきたいと思います。



山本 秀幸先生 2023/2/5 (日) 14:00~15:30

「私達の感情と運動を制御するドーパミンについて」

私達の脳の中には、神経伝達物質とよばれる化学物質が多数存在しています。今回、その中の一つであるドーパミンに焦点をあて、精神神経疾患や多幸感への関与について紹介させて頂く予定です。特に、ドーパミンの3種類の動きについて比較しながら説明します。例えば、私達の脳内には快楽中枢があり、この部位でドーパミンが放出されると快楽を感じます。興味深いことに、モルヒネなどの麻薬性鎮痛薬はこの部位でのドーパミンの放出を異常に高めて、恍惚感をもたらすと考えられています。また別の部位で、ドーパミンは骨格筋の運動を調節しています。高齢になると、この動きが衰えてパーキンソン病が引き起こされます。加えて、統合失調症へのドーパミンの関与についても現在の考えを紹介させていただく予定です。本講演会が脳に興味を抱く一助となれば幸いです。



大湾 知子先生 2023/2/19 (日) 14:00~15:30

「医療福祉施設における排泄(排尿・排便)ケアの関わり方」

医療福祉施設では、主として30年前は布おむつを使用して排泄ケアをしておりました。

近年、紙おむつの種類が多く開発され普及されてきました。私たちみんなが、気持ちよく排泄できる社会を目指して取り組む必要があります。

感染対策の視点を取り入れた医療福祉施設での排泄ケアとして、排尿・排便日誌、おむつの選び方・当て方、排尿・便通に良い食材、陰部・臀部洗浄方法、排尿や排便の処理、排泄ケアなど、解説します。在宅でも参考に実践も可能です。一人で悩まず一緒に考えましょう。



伝わる SDGs! 本当に大切なものはなに? 真智子さんの写真からあなたは何を想う...

写真展「医療への信頼－河田真智子の写真から考える－」



12月1日から写真企画展「医療への信頼－河田真智子の写真から考える－」を開催しています。SDGsが目指す「多様性の尊重」「誰一人取り残さない社会の実現」に関する企画展として、「医療への信頼」をテーマに、SDGsの目標の一つである「すべての人に健康と福祉を」にスポットを当てています。本企画展は写真家の河田氏にご協力いただき、重度の障害をもって生まれた河田氏のご息女が生きてきた記録と、支え続けてきた医療従事者の姿を記録した写真を展示しています。写真を通して学生のみなさんに今一度、SDGsやクオリティ・オブ・ライフ、地域医療などについて考えるきっかけ作りになれば良いと思います。また、SDGsの書籍や地域医療に関する本も配架し紹介しています。“あなたにとっての大切なものは何?” “一人ひとりの幸せのものさしとは” “生きる喜び” “今自分が出来ることは何?” 写真を見て感じるものはそれぞれ自由です。しかしその心根に宿る内なる想いを大事に育み、日々感謝して生きることの大切さ! を改めて感じさせるそんな想いが溢れる写真展です。

河田真智子氏プロフィール

島旅作家・写真家
成蹊大学文学部卒。マリン企画で雑誌編集を経て1980年独立。1978年より島の愛好会「ぐるーぶ・あいらんだー」を30年間主宰。1999年より奄美群島振興開発審議委員会、鹿児島県100人医員などを務める。
1991年より障害児を育てながら仕事をしていきたいネットワーク「マザー・アンド・マザー」1999年まで主宰。現在、最重度障がい児・者のためのネットワーク「海うさぎ」を主宰。



左:「医療への信頼」の本の表紙

右:「写真集(生きる喜び)」の表紙

関連本を紹介



誤嚥性肺炎で入院した後、鼻から胃にチューブを通して栄養を摂っていた。



展示している写真の一部



ショッピングセンターにて

窓超しの景色と写真が感じ!



ヘルパーさんと家の外へ

ずっとやりたいと思っていた写真展だった。娘の命を支えてきてくれた「医療」を伝えたい。写真を見返すと、そこには賢明に生きてきた日々があった。
悔いのない「過去」があった。
娘夏帆が幾度も命の際に立った時
手を引く医師や支える看護師がいた。
そして在宅医療を支える人たちが。
私にできることは、その感謝を写真で伝えること。
「未来」
夏帆は写真の中で生き、一人歩きをしてゆく。



朝早く「おめでとうございます」と
声高だかにお祝電報が届いた7歳の日

おしらせ

集中学習室をリニューアルしました(^)/

集中自習室を3つの個室スペースにリニューアルしました!
周りを気にせず、静かに集中して学習したい、レポート作成で集中したい等に最適なスペースです。
ご利用の際は、図書スタッフまでお声かけください。

※またご利用の後には、必ずドアを開けて換気をしていただきますようお願いいたします。



2022年度 第2学期 ゼミのお知らせ

1月以降
の開催

申込方法

お申込みはメールのみ受け付けます。お電話での受付は致しません。
ゼミに関するお知らせ等は全てメールで行います。
以下をご記入の上、(okinawa-zemi@ouj.ac.jp)までお申込みください。
①タイトル：〇〇先生のゼミ申込みについて
②氏名（フルネーム） ③学生番号 ④メールアドレス ⑤希望のゼミ名

受講料

無料

場所

沖縄学習センター

受付期間

各ゼミ開講の1週間前まで
※途中参加はできません

※沖縄学習センター所属の学生対象

大湾 知子 先生 定員10人
土曜日 14:00~16:00

知って徳する尿失禁と骨盤臓器脱の対策

1月28日、2月4日・18日・25日（全4回）



女性の2人に1人が骨盤の筋肉組織がゆるんで尿失禁を経験しています。骨盤内臓器を支えている組織が弱くなり骨盤臓器が腔内外に下垂してくる骨盤臓器脱があります。尿失禁と骨盤臓器脱の対策として骨盤底筋体操を実際に演習して学びましょう。きっと、良い改善策に繋がります。

高木 博 先生 定員10人
日曜日 10:30~12:00

生き生きとした脳の使い方についてのゼミナール

1月29日、2月5日・19日・26日、3月5日（全5回）



いつまでも若々しく健康的で生き生きとした脳の使い方について学んで行くことを考えています。1学期と同じように楽しいゼミにしたいと思っています。積極的な参加をお待ちしております。

判らないことはメールなどでの質問もお受けいたします。

大城 賢 先生 定員10人
水曜日 15:30~17:00

英文法の基礎をはじめから

2月1日・8日・15日・22日（全4回）予備日 3月1日



英語の学習において、「基礎で躓いた」という人は多いようです。基礎で躓いてしまうとその後の学習を上手く進めることができません。

このゼミにおいては、英文法を基礎から学習します。しばらく英語の学びから離れていた方や、英文法に疑問を持っている方に受講をおすすめします。

古川 卓 先生 定員10人
金曜日 14:30~16:00

心理劇入門

2月3日・10日・17日・24日、3月3日（全5回）



「心理劇」とは、心の癒しや心の成長のために集団で行う即興劇、と言えます。

このゼミでは、心理劇の歴史と手続きを紹介するとともに、実際に心理劇を体験するワークショップ形式を計画しています。文献などの資料は講師が準備いたします。なお、心理劇は少なくとも3名以上の参加が必要ですので、希望者が少ない場合は開講されない場合があります。新型コロナウイルス感染症流行の場合も開講されない場合があります。